

Salvia-hall
Quartet
Series
Season 62

鶴見の夏 2025

横浜市鶴見区民文化センター
会場：サルビアホール 3F 音楽ホール

毎回19:00 開演 (18:30開場)

8月 1日 (金)

カルテット・インテグラ

ハイドン：弦楽四重奏曲 第31番 Op.33-1

バルトーク：弦楽四重奏曲 第2番 Sz.67

ベルク：叙情組曲



8月 6日 (水)

カルテット・ ベルリン＝トウキョウ

ハイドン：弦楽四重奏曲 第66番 Op.77-1

ブラームス：弦楽四重奏曲 第3番 Op.67

スマタナ：弦楽四重奏曲 第1番 「わが生涯より」

8月 14日 (木)

Quartett Muss es sein?

「そうでなければならないのか？」四重奏団

水谷晃 尾馬哲男 村上淳一郎 山崎伸子 首都圏デビュー！

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲全曲演奏1

弦楽四重奏曲 Op.14-1

弦楽四重奏曲 第1番 Op.18-1

弦楽四重奏曲 第9番 Op.59-3 「ラズモフスキイ第3」



3公演セット券 16,000円 4月26日(土)より前売開始

各公演1回券 6,000円 5月17日(土)より前売開始

主催：横浜楽友会

共催：サルビアホール

予約：

サルビアホール

☎ 045-511-5711

詳細に関する問合せ：090-2404-6832 (平井)

カルテットの殿堂へようこそ！

サルビアホール音楽ホール、シーボックス型、定員100人！、固定席

これまでにない驚異の音響空間が出現



鶴見は近い！ 品川から17分、横浜から10分、ホールは駅前

Salvia-hall Quartet Series Season 62

ロサンゼルスを拠点に活躍

カルテット・インテグラ Quartet INTEGRA

三澤響果 vn 菊野凜太郎 vn 山本一輝 va パク・イェウン vc

2015年結成。「インテグラ」とはイタリア語で統合や誠実さを意味する。2021年には、ハンガリーのリスト・アカデミーが主宰するバルトーク国際コンクールで優勝、22年のARDミュンヘン国際コンクールでは第2位となり、併せて「聴衆賞」を受賞した。元アルバン・ベルク四重奏団のギュンター・ピヒラーに招かれ、キジアーナ音楽院夏期マスタークラスにも全額スカラシップを得て参加した。これまでに。サントリーホール室内楽アカデミー第5期フェロー、磯村和英、山崎伸子、原田幸一郎等に師事した。現在は、ロサンゼルスのコルバーン音楽院にてレジデンス・アーティストとして、マーティン・ビーバー、ジョナサン・ブラウン、クライブ・グリーンスミスに師事している。

驚異的な集中力を示すエリート集団

カルテット・ベルリン=トウキョウ Quartet BERLIN-TOKYO

守屋剛志 vn モディ・パヴロフ vn アルヴァロ・カステヨ va 松本瑠衣子 vc

2011年、武生国際音楽祭の要請を受けて、ベルリンで出会った4人によって結成された。翌12年ミュンヘン国際コンクールにおいて特別賞を受賞、松尾学術財団より奨学金を受けることとなった。13年には、ニューヨークのYCAオーディションで第2位、オランダのオルランド国際コンクールで優勝併せて聴衆賞を受賞したほか、イタリア、オーストリア、デンマーク等のコンクールに入賞、また2016年には3大コンクール1つとなるボルドー国際コンクールでファイナリスト（3団体）の1つとなった。これまでにベルリンのフィルハーモニーやアムステルダムのコンセルトヘボーなどで演奏、15年オープンの札幌・ふきのとうホールのレジデンス・カルテットを務めている。

実力者揃いの新カルテット、首都圏デビュー

Quartett MUSS ES SEIN ?

水谷 晃 vn 對馬哲男 vn 村上淳一郎 va 山崎伸子 vc

都響コンサートマスターの水谷、N響首席奏者の村上、日本チェロ界のレジェンド山崎によるベートーヴェンの弦楽三重奏曲全曲演奏を経て、読響フォア・シュピーラーの対馬を加えて新カルテットを結成した。名称は、ベートーヴェンの最後の弦楽四重奏曲（第16番 Op.135）の終楽章にベートーヴェン自身が記した語に由来している。本年7月ゆふいん音楽祭にデビュー、この公演が首都圏へのお披露目となる。アンサンブルを知り尽くした実力者4人に大きな期待が寄せられている。今後6年をかけてベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏を計画している。

SQS 200回記念 QUARTET FESTIVAL

9/30 Qエクセルシオ 10/7 グラッフェQ 10/16 アマリリスQ
10/20 & 22 ウィハンQ 10/29 ドーリックSQ 11/4 ヴィジョンSQ